

7月に九州を襲った豪雨では、数十人の命が犠牲になりました。経験したことがないような災害、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、今まで以上に緊急時への備えが重要になっています。「その時」が来るまでに、私たちは何を準備すればいいのでしょうか。今回は、命を守るための2つのキーワードから考えてみます。

問 防災安全課 ☎84-0326

命を守るキーワード② マイ・タイムライン

▼昨年の台風19号で
氾濫寸前の水路(町内)



風水害に備えた行動を一人ひとりあらかじめ計画しておくのがマイ・タイムラインです。地震などの予測が難しい災害と異なり、風雨は予測することができるため、風水害が発生する前に準備することができます。家族構成や住んでいる場所によって避難の仕方が変わるのももちろん、気象状況(台風、長雨、豪雨)によって複数パターンのマイ・タイムラインを作ることも重要です。例えば台風の時は、接近に伴って風雨が強くなるため、その前に避難を開始する必要があります。また、台風の経路は変わりやすいため、天気予報をこまめに確認することも重要です。

マイ・タイムラインの作成は、単に非常時の計画を立てることだけではなく、それぞれが、心の準備をすることにつながります。防災について家族で話し合う際のヒントとして活用してください。

風水害に備えた行動を一人ひとりあらかじめ計画しておくのがマイ・タイムラインです。地震などの予測が難しい災害と異なり、風雨は予測することができるため、風水害が発生する前に準備することができます。家族構成や住んでいる場所によって避難の仕方が変わるのももちろん、気象状況(台風、長雨、豪雨)によって複数パターンのマイ・タイムラインを作ることも重要です。例えば台風の時は、接近に伴って風雨が強くなるため、その前に避難を開始する必要があります。また、台風の経路は変わりやすいため、天気予報をこまめに確認することも重要です。

災害に備える

複合災害 × マイ・タイムライン

命を守るキーワード① 複合災害

長引く新型コロナウイルス禍の状況の中で、ひとたび自然災害が発生すれば、「複合災害」ともいえる状況となります。

地震や水害への対応に重ねて、避難所等における感染症対策が必要になることから、町ではこれまでの避難計画を見直しています。マスクや手指消毒用の薬剤を用意しておくことはもちろん、密を避けるための避難所内の配置を検討するなど、準備を進めています。一方、風水害の場合などは、必ずしも避難所に避難することが最善策とは限りません。区域によっては、在宅避難・垂直避難(自宅の2階などに避難)の方が、かえって安全な場合もあります。なお、避難所に避難する場合でも、町の備蓄品には限りがあるため、感染症対策用品を含めた非常用グッズを持ち込むようにしましょう。また垂直避難を想定すると、非常用グッズは、1階と2階にそれぞれ用意しておくとう万全です。

今年は町の防災訓練を開催しません。ご家庭で、非常時に何が必要なのかよく話し合しましょう。

防災安全課
せと きりゅう
瀬戸 輝龍
主任主事



マイ・タイムラインをつくる

緊急時には、計画どおりに行動できないもの。それでも、一度考えるかどうかで、結果は違います。

作成のポイント

- 1 平常時に確認しておくこと
 - 自宅の状況(浸水深、浸水継続時間など)
 - 避難先、避難先までの交通手段
 - 避難時に持ち出す物資
- 2 避難時に注意すること
 - 避難前(必需品の携帯など)
 - 避難中(避難所までの経路の危険箇所など)

開成町マイ・タイムライン

町のホームページで、マイ・タイムラインを作成するためのシートを公開しています。非常時に冷静な行動をとるためにも、ぜひ作成してください。



▲公開中のマイ・タイムライン作成シート

非常用グッズのチェックリスト

非常時に必要な物を備えておくのは、在宅避難の場合も同様。意外とそろっていない物もあるのでは。

感染症対策用品

